

総代のみなさまへ

第 42 期 第 1 号 7 月 7 日

第 42 期総代の任期は 2025 年 6 月 11 日～2026 年 6 月 10 日です



生協ひろしま 理事会

第 41 回通常総代会を 6 月 10 日に開催し、多くのみなさんにご出席いただき無事終了しました。

2025 年度総代のみなさんは、今年 6 月 11 日から 2026 年 6 月の第 42 回通常総代会までが任期となります。毎月、この紙面で理事会報告を中心に生協ひろしまの取り組みをお伝えしていきます。今年度もよろしくお願いいたします。



6 月 10 日開催 第 1 回理事会の報告

第 1 号議案 代表理事の選定に関する件

資料に基づき、代表理事の提案がなされ、理事長 宗本干城氏、専務理事 高浦美穂氏を選定することが承認されました。

第 2 号議案 理事長等の役付き理事の互選に関する件

資料に基づき、役付き理事の提案がなされ、理事長 宗本干城氏、専務理事 高浦美穂氏、常務理事は互選なしとすることが承認されました。

第 3 号議案 顧問の選任に関する件

資料に基づき、顧問の提案がなされ、顧問 坂本和博氏を選定することが承認されました。

第 4 号議案 特定理事の選定に関する件

資料に基づき、監査報告の通知を受ける特定理事に、専務理事 高浦美穂氏を選定することが承認されました。

第 5 号議案 2025 年度役員、監事の個別報酬額に関する件

役員人事委員会からの提案資料に基づき、今回就任する役員の個別報酬額について承認されました。

6 月 19 日開催 第 2 回理事会の報告

理事長挨拶

第 41 回通常総代会が無事に終了いたしました。ご出席、ご協力いただき、誠にありがとうございました。新しい体制での理事会となります。理事会の中でも意見交換を重ねながら組合員のくらしに貢献できるよう、事業や活動に取り組んでいきたいと思っております。

第 1 号議案 第 42-43 期(2025-2026 年度)役員人事委員の選任について

第 42 期(2025 年度)役員改選にともない、役員人事委員会規程に基づいて役員人事委員の選任について、承認されました。

役員人事委員会は、役員の人事および待遇などについて審議し、委員会としての意見を理事会に報告することを目的としています。委員の任期は第 42 期-第 43 期における期間となります。

【委員一覧】

理事長	宗本 干城
地方区理事	大内 佳子
	佐々木 真朱実
有識理事	北野 尚人
	平谷 優子
専務理事	高浦 美穂
常勤理事	重信 均

第2号議案 電子棚札導入について

店舗事業における電子棚札^{でんしななだ}の導入について、承認されました。

※電子棚札とは、商品棚に取り付けられる電子表示の価格札のことです。

現状の問題点としては、価格変動が多く売価間違いの発生、付け替え作業による負担などが挙げられ、導入することにより売価間違いの削減や作業軽減による省力化^{しょうりよくか}の効果が期待できます。導入経費は全店導入することで減額交渉をおこない、合計 7 店舗での導入経費は 8,171 万 8 千円となります。

1 店舗電子棚札経費	1 店舗接続初期費用	1 店舗合計経費	合計 7 店舗導入経費
1,000 万円	167 万 4 千円	1,167 万 4 千円	8,171 万 8 千円

1 店舗あたり概算 1,167 万 4 千円の初期投資が必要となりますが、導入によるコストの削減により、年間約 164 万円の効果が見込まれます。これにより投資回収には約 7.12 年を要しますが、組合員への信頼性向上や削減された人時の有効活用といった面で大きな導入効果が期待されます。

2025 年 10 月より導入開始予定で、2026 年 3 月までに全 7 店舗への導入が完了する見込みです。

電子棚札イメージ見本
(白・黒・赤の3色)



第3号議案 「被爆者が描いた原爆の絵を街角に返す会」への募金について

「被爆者が描いた原爆の絵を街角に返す会」より、11 号碑建設のための募金依頼があり、平和募金より 50 万円の協力をおこなうことについて、承認されました。

「被爆者が描いた原爆の絵を街角に返す会」8 月 6 日の光景が描かれた絵が、約 4,000 枚も広島平和記念資料館にデータ保存されています。これは被爆者が渾身の思いを込めて描いた光景であり、原爆の恐ろしい実相^{こはやさかあきらし}を伝えるものです。この会は脚本家の故早坂 暁 氏の呼びかけで 2002 年に発足されました。

【被爆者が描いた原爆の絵を街角に返す会】第 11 号碑 絵の紹介



参考資料

2025 年 5 月現在、広島市内 10 ヶ所に絵碑^{えひ}が建立^{こんりゅう}されており、原爆の実相の継承活動として被爆 80 年の節目となる今年、広島市との共同制作で第 11 号碑を建設するため、その費用に充てる募金となります。

<報告事項>

第 4 号議案 5 月度組織・事業状況及び決算報告

1. 5 月度決算・事業状況

2025年5月度		損益計算書				(単月)		2025/6/6		
		予算:42期予算				単位:千円				
No.	科 目 名	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差	計算式	用語説明
A	宅配事業	3,273,714	3,302,225	3,393,444	100.9%	28,511	97.3%	-91,219		宅配利用金額
B	店舗事業	784,664	814,618	752,045	103.8%	29,954	108.3%	62,573		店舗利用金額
C	供給高(利用高)	4,058,378	4,116,843	4,145,489	101.4%	58,465	99.3%	-28,646	(A+B)	宅配・店舗利用金額
D	供給原価	3,032,875	3,076,215	3,107,373	101.4%	43,340	99.0%	-31,159		商品の販売費用
E	供給剰余金	1,025,503	1,040,628	1,038,116	101.5%	15,125	100.2%	2,512	(C-D)	商品販売の利益
F	電力供給高	43,599	46,489	43,142	106.6%	2,890	107.8%	3,347		電力事業の収入
G	電力供給原価	41,652	56,595	53,068	135.9%	14,943	106.6%	3,527		電力事業の仕入高
H	電力供給剰余金	1,947	-10,107	-9,926	-519.1%	-12,054	98.2%	-180	(F-G)	電力事業の利益
I	福祉事業収入	122,016	126,723	120,221	103.9%	4,707	105.4%	6,502		福祉事業の収入
J	福祉事業費用	109,630	110,032	110,262	100.4%	402	99.8%	-229		福祉事業の費用
K	福祉剰余金	12,386	16,691	9,959	134.8%	4,305	167.6%	6,731	(I-J)	福祉事業の利益
L	共済受託手数料	62,722	63,091	62,535	100.6%	369	100.9%	557		共済受託手数料収入
M	受取手数料	67,727	66,055	65,155	97.5%	-1,672	101.4%	900		受取手数料収入
N	その他事業収入	130,449	129,146	127,689	99.0%	-1,303	101.1%	1,457	(L+M)	個配、共済受託などの手数料収入
O	事業総剰余金	1,170,285	1,176,358	1,165,839	100.5%	6,073	100.9%	10,520	(E+H+K+N)	事業活動からの利益
P	人件費計	573,051	582,733	585,761	101.7%	9,682	99.5%	-3,028		職員給与など
Q	物件費計	631,812	638,822	615,144	101.1%	7,010	103.8%	23,678		広報費、水道光熱費、家賃、委託料など
R	事業経費	1,204,863	1,221,555	1,200,905	101.4%	16,692	101.7%	20,650	(P+Q)	事業活動からの経費
S	事業剰余金	-34,578	-45,197	-35,067	69.3%	-10,619	71.1%	-10,130	(O-R)	事業活動の利益から経費を引いた利益
T	事業外収益	17,514	19,115	27,253	109.1%	1,601	70.1%	-8,138		財務活動からの利益(家賃収入など)
U	事業外費用	344	382	443	111.1%	38	86.3%	-61		財務活動からの費用(支払利息など)
V	経常剰余金	-17,408	-26,464	-8,257	48.0%	-9,056	-120.5%	-18,207	(S+T-U)	事業全体で得た利益

※5 月度 宅配事業（利用人数・実利用金額）、店舗事業（来店客数・客単価）は以下となります。

宅配事業(2025年5月度)								店舗事業(2025年5月度)				
宅配事業	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差	店舗事業	本年実績	前年実績	前年差	前年比
利用人数(名)	587,400	582,980	584,205	99.2%	-4,420	99.8%	-1,225	来店客数(名)	338,431	323,483	14,948	104.6%
実利用金額(円)	4,995	5,040	4,979	100.9%	45	101.2%	61	客単価(円)	2,407	2,325	82	103.5%

<2025 年 5 月度 損益計算書（単月）の主なポイントについて>

5 月単月において、C 供給高・E 供給剰余金はともに予算を上回りましたが、H 電力供給剰余金が予算を下回ったため、O 事業総剰余金は予算差+607 万円、予算比 100.5%で予算をわずかに上回る結果にとどまりました。一方で、P 人件費計およびQ 物件費計がともに予算を超過したことで、R 事業経費は予算差+1,669 万円、予算比 101.4%となり、結果として S 事業剰余金は予算差-1,061 万円、予算比 69.3%となりました。

<補足事項>

- ・ 宅配事業の前年差-9,121 万円は、前年より営業日数が 1 日少なかった影響によるものです。
- ・ 電力供給剰余金の実績-1,010 万円は、市場連動型の仕入価格が予想以上に高騰したことによるものです。
- ・ 物件費の予算超過は、経費の計上月のズレに加え、新卒採用媒体や人材紹介にかかる求人費用の発生、ならびに固定資産税の増加が主な要因です。

2025 年 4 月～2025 年 5 月の累計実績は以下となります。

2025年4年度～2025年5月度 損益計算書 (累計)										2025/6/6
予算:42期予算										単位:千円
No.	科 目 名	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差	計算式	用語説明
A	宅配事業	6,561,312	6,624,522	6,635,685	101.0%	63,210	99.8%	-11,163		宅配利用金額
B	店舗事業	1,540,733	1,597,664	1,479,074	103.7%	56,931	108.0%	118,589		店舗利用金額
C	供給高(利用高)	8,102,045	8,222,186	8,114,760	101.5%	120,141	101.3%	107,426	(A+B)	宅配・店舗利用金額
D	供給原価	6,055,155	6,141,500	6,083,283	101.4%	86,345	101.0%	58,217		商品の販売費用
E	供給剰余金	2,046,890	2,080,685	2,031,477	101.7%	33,795	102.4%	49,208	(C-D)	商品販売の利益
F	電力供給高	97,379	104,091	94,439	106.9%	6,712	110.2%	9,652		電力事業の収入
G	電力供給原価	88,778	108,707	104,854	122.4%	19,929	103.7%	3,853		電力事業の仕入高
H	電力供給剰余金	8,601	-4,616	-10,415	-53.7%	-13,217	155.7%	5,798	(F-G)	電力事業の利益
I	福祉事業収入	239,472	244,152	236,963	102.0%	4,680	103.0%	7,189		福祉事業の収入
J	福祉事業費用	220,442	219,302	221,996	99.5%	-1,140	98.8%	-2,694		福祉事業の費用
K	福祉剰余金	19,030	24,850	14,968	130.6%	5,820	166.0%	9,882	(I-J)	福祉事業の利益
L	共済受託手数料	124,354	124,409	123,983	100.0%	55	100.3%	426		共済受託手数料収入
M	受取手数料	134,258	139,718	133,494	104.1%	5,460	104.7%	6,223		受取手数料収入
N	その他事業収入	258,612	264,126	257,477	102.1%	5,514	102.6%	6,649	(L+M)	個配、共済受託などの手数料収入
O	事業総剰余金	2,333,133	2,365,045	2,293,507	101.4%	31,912	103.1%	71,538	(E+H+K+N)	事業活動からの利益
P	人件費計	1,145,150	1,164,399	1,147,255	101.7%	19,249	101.5%	17,144		職員給与など
Q	物件費計	1,212,539	1,195,651	1,130,760	98.6%	-16,888	105.7%	64,892		広報費、水道光熱費、家賃、委託料など
R	事業経費	2,357,689	2,360,051	2,278,015	100.1%	2,362	103.6%	82,036	(P+Q)	事業活動からの経費
S	事業剰余金	-24,556	4,995	15,492	220.3%	29,551	32.2%	-10,497	(O-R)	事業活動の利益から経費を引いた利益
T	事業外収益	36,345	41,294	52,641	113.6%	4,949	78.4%	-11,347		財務活動からの利益(家賃収入など)
U	事業外費用	712	920	811	129.2%	208	113.5%	109		財務活動からの費用(支払利息など)
V	経常剰余金	11,077	45,369	67,323	409.6%	34,292	67.4%	-21,954	(S+T-U)	事業全体で得た利益

第 5 号議案 5 月度一般活動報告について

1. 内部統制・グループ会社報告

5 月度の内部統制（法令遵守事項、商品お申し出、車両事故、労働災害、各種事故、ヘルプライン、残業など）、グループ会社（コープサービス、コープハウジング、ハートコープ、ハートランド）の事業内容について報告、確認しました。

2. 図形「COOP-FACE」商標登録の更新について



図形「COOP-FACE」の商標権は 2015 年度に取得しています。商標権の存続期間が 10 年のため、更新について確認しました。

3. 第 41 回通常総代会の出席状況（総代実出席・書面議決状況）について

第 41 回通常総代会の出席状況は、総代総数 530 名、実出席 301 名、書面議決書 192 名、合計 493 名で、出席率 93.0%となったことを確認しました。

4. 春の地区別総代会議まとめ（出席・アンケート・意見等）について

第 41 期「春の地区別総代会議」のまとめ内容について確認しました。
第 41 期の総代人数は 531 名でしたが、当日の出席者数は 321 名で、出席率は 60.5%となりました。また、アンケートの提出状況を確認するとともに、寄せられた質問・意見・要望、分散会で出された声について確認しました。

5. 2025 年障がい者支援募金 助成先団体と贈呈式について

障がい者作業所等 174 団体に対し助成案内を送付した結果、申請のあった 82 団体に対し一律 28,000 円、総額 2,296,000 円の助成を実施することを確認しました。6 月 30 日（月）

に振込にて贈呈します。

助成先団体については、下記内容を確認し、くらし応援グループで決定をおこないました。

- (1) 使用目的が作業所の運営関連等への使用、また、利用者の立場に配慮した内容のもの。
- (2) 作業所内で使用する物品購入など。

5月21日(水)に「障がい者支援募金」の贈呈式をおこない、きょうされん広島県支部に30万円を贈呈しました。



6. 大船渡市山林火災支援募金 最終結果について

2025年4月～5月に実施した「岩手県大船渡市山林火災支援募金」最終結果について確認しました。募金実績は12,293,460円で、岩手県生活協同組合連合会の指定口座に、2025年6月30日(月)に振込予定です。お預かりした募金は、主に「義援金」として大船渡市にお渡しします。ただし、被災地の状況に応じて、一部を「支援金」として大船渡市にご活用いただく場合があります、その判断については、岩手県生協連に一任します。

※義援金は、被災された方に公平・平等に配分されるお金です

※支援金は、被災地の支援のために使うお金です。

【文書報告】

1. コープ商品の改廃情報(2025年7月～2025年9月)として、57品目が報告されました。
2. 組合員活動報告、地域連携活動報告、各会議議事録が報告されました。
3. 2025年度監事監査方針・計画、2024年度末監査指摘事項回答要請文が報告されました。

インフォメーション

CO・OP サポート

宅配5月3回に黒瀬支所限定でCO・OPサポートを開催しました。

439人の組合員の方から、商品点数705点、金額209,250円のご協力をいただきました。

5月24日(土)に贈呈式をおこない「NPO法人広島こども食堂支援センター」を通して、地域のこども食堂へ寄贈しました。

ありがとうございました。



国際協同組合年

2025年は国連が定めた「国際協同組合年」です。協同組合の活動を推進しその認知度を高めることを目的としています。テーマは「協同組合はよりよい世界を築きます」です。協同組合の役割と価値を広くアピールし、理解と共感を深めたいですね。

第41回通常総代会でも「国際協同組合年」について紹介をおこないました。



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます